

成田線開設、中部線を再開 ■ルフトハンザ旅客便、27年夏季から

ルフトハンザ・ドイツ航空 (DLH) は2027年夏季スケジュールから、日本路線を拡充する。3月28日から成田—フランクフルト線をデイリーで、中部—同線を週3便で、それぞれ運航再開する。両路線にはB787-9型機を投入する。中部線は、新型コロナウイルス禍の影響で20年3月14日から運休して以来、約7年ぶりの運航となる。

中部—フランクフルト線は季節運

航として再開する。フランクフルト発は3月29日から月・水・土曜日、中部発は同30日から火・木・日曜日の週3便で運航する。中部発LH737便は午前11時30分に出発し、午後6時30分にフランクフルトに到着する (いずれも現地時間)。

成田—フランクフルト線は3月28日からデイリーで運航する。成田発LH711便は午前11時20分発、フランクフルト午後6時40分着。LH

は羽田—フランクフルト、羽田—ミュンヘンの各線についても引き続きデイリーで運航する。

ルフトハンザ・グループではこのほか、スイス インターナショナル エアラインズ (SWR) が成田—チューリッヒ線を週最大7便に拡大する。27年夏季にはDLH、オーストリア航空、SWR、ITAエアウェイズの4社が羽田、成田、関西、中部の4空港から週最大50便を運航する。